

芸術学

芸術を広く深く探求し
地域、社会、そして世界への貢献を目指す。

伝統と革新のアートがあるまち、金沢。
その環境を生かした
現代美術領域の「制作」-「批評」「企画」、
先端的な「歴史研究」の交差する教育環境。
その成果を社会に還元できる人材を育てます。



芸術の現代的意義を、グローバルスタンダードの学術研究と領域を超えた横断的な多形式作品制作の実践により探求し社会をリードする

芸術学 ⇒ Sustainable Contemporary Art Practice and Visual Culture Studies (SCAPE)

21世紀の芸術の置かれた複雑多様な社会、経済、文化、環境の問題を理解し、持続可能な社会への希望を発信する実践と視覚文化研究のできる人材を育てます。

1年次

視覚文化史、文化産業学、文化人類学、コミュニティ社会学、科学技術論、市場経営学、持続可能経済学等を横断した現代批評構築や多言語コミュニケーションをスタディスキルの基本として導入します。並行して、市場の現在性に基づく、立体・平面・メディアアート等、多岐に渡る表現形式を媒体とする現代美術領域の実践的理論と創作の探究を行います。

芸術学演習(一)〔グローバル美術理論1〕

芸術学概論〔現代美術領域 多形式制作と理論 基礎〕

彫刻・工芸・デザイン・映像メディアなどの実技

芸術学演習(一)
〔グローバル美術理論1〕

芸術学における研究・調査・議論・発表に必要なスタディスキルの基礎を身につけます。金沢のローカル文化を通してグローバルな視野で考えるために必要な現代批評と重要なポストコロニアル理論を日英語文献で多読し、工房見学などのフィールドワークも行いながら小型プロジェクトを達成します。



梅山薫(中村卓夫)工房見学

芸術学概論
〔現代美術領域 多形式制作と理論 基礎〕

現在の市場性と批評軸を調査し、表現を成立させる多様な社会の背景を理解します。以上をバックボーンとして、ディスカッションやディベートを通しグループワークでの現代美術制作に取り組みます。整合性のある作品とコンセプトで表現の強度を上げる術を学ぶこと、独自性のあるイメージを顕現出来る基盤を作ることが目的です。



芸術学概論写真

学外研修

- アーティストインレジデンス(専攻研修旅行)
芸術学演習(2)で行う展示企画を、アーティストインレジデンス(研修旅行)にて公式学外展示として発表し、学内展を含め冊子を作成。キャリアを育成し現場力を養います。
- 留学、大学院進学、研究者への道
本専攻には海外での教育や活動経験の豊富な教員が、留学、国内外大学院入学、学会発表などへのサポートを行い、研究者となる道も開きます。

2年次

1年次の学際的かつ横断的なアプローチによる研究・制作導入に引き続き、ポストコロニアル理論と視覚文化の問題の理解を深める一方、制作プロジェクトを通して多形式を前提とした現代の美術市場傾向を鑑みた「実践」を行います。

芸術学演習(二)〔現代美術領域 多形式制作と理論 発展 〕

芸術学特講〔グローバル美術理論2〕

絵画・版画・工芸・美術表現などの実技

芸術学演習(二)
〔現代美術領域 多形式制作と理論 発展〕

ひとつの大きな作品として、時事問題や市場に絡めたテーマ等を選んで企画展を立ち上げます。デザイン(編集、アートディレクション等)、企画(ギャラリスト及プロデュース及学芸員)、制作(アーティスト)の3グループのうちいずれかを選択し、交渉や関わりのある模擬社会の中で展覧会を成立させます。自らの適性を探し、技量のみならず現場力を体得しながら専門性を深化させることが目的の総合学習です。

教育の特色①

自分＝社会の意識を強め、グローバル社会に説得力のある多言語と視覚表現を一体化して発信できる基本的なスタディスキルを養います。

芸術学特講
〔グローバル美術理論2〕

ポストコロニアル理論と文化社会(知の不均衡の力学、国家と人種、表象、ジェンダー、西洋―東洋、東アジアの植民地問題と脱植民、サステナビリティ等)などの批評の視点と方法論を日英語文献の多読を通して学び、議論することで現代の文化社会とアートの問題を考えます。



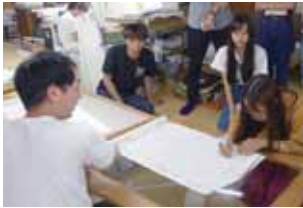
Guerrilla Girl(金美)に登場!



芸術学演習(2) 小林葵『解き』
学部二年・立体インスタレーション
2022年度本学ベルギー交換留学生
(撮影/学部二年 佐藤莉於)

学外活動の支援

美術館・ギャラリー・文化財修理工房などの見学も随時行います。国内外学会への参加や発表、海外の研究や創作動向を直に知るためのワークショップ等へ誘導し就職や留学にもつながるネットワーク作りを促進します。また、学生主体による展覧会の企画、読書会、ディスカッショングループ、社会活動などの学外活動を積極的に支援します。



毎田染画工芸の見学(金沢市)

3年次

現代批評と実践の専門性を高め、各自の専門分野を確立します。近現代工芸/デザイン/視覚文化研究領域、現代美術領域―多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域などからゼミを選び、指導を受け、作品制作、プロジェクト企画、展覧会キュレーション、研究論文発表などを行います。

芸術学演習(三)
専門演習

(近現代工芸／デザイン／視覚文化研究領域、現代美術領域―多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域など)

絵画・コンピューターグラフィックスなどの実技

芸術学演習(三)

3年次には、卒業論文の足がかりとなるよう、研究対象に応じたより専門的な演習を行います。また、各自が美術品を購入し、それについて多角的な調査・研究に従事する演習もあります。購入品は国内外の絵画、彫刻から工芸品まで、多種多様です。各自研究成果を口頭で発表し、レポートにまとめ、あわせて学内で購入品の展覧会を開催します。

ゼミの例

社会と美術の問題を深掘りする現代美術批評読解ゼミ、工芸科学生と合同で作家ステートメントやキュレーションの練習をするゼミ、多形式制作及び実践的理論に基づく企画展示を行うゼミ、アート市場原理を元にしたキュレーション実践ゼミなどがある。



2021年買い物ゼミの研究展示写真

卒業後の進路

愛知県陶磁資料館、石川県七尾美術館、石川県能登島ガラス美術館、石川県立美術館、石川県輪島漆芸美術館、伊丹市美術館、うつのみや妖精ミュージアム、金沢21世紀美術館、金沢市立中村記念美術館、金沢湯涌夢二館、九州国立博物館、黒部市美術館、公益財団法人鍋島報效会 徴古館、国立工芸館、静岡市美術館、女子美術大学歴史資料展示室、福井市自然史博物館分館、福島県立博物館、敦賀市立博物館、東京国立博物館、東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館、富山県水墨美術館、富山県美術館、豊田市美術館、名古屋市美術館、福井県立美術館、福岡アジア美術館、古川美術館、碧南市藤井達吉現代美術館、北海道立近代美術館、北海道立釧路芸術館、ポーラ美術館、柳宗理記念デザイン研究所、横須賀市美術館、横浜美術館、和歌山県立美術館、ヴァンジ彫刻庭園美術館、リンカーン群歴史協会(アメリカ合衆国)、東京藝術大学、福井大学、和光大学、公立および私立中・高等学校美術教員など〔他大学進学先〕九州大学、京都市立芸術大学、群馬県立女子大学、慶應義塾大学、神戸大学、昭和女子大学、総合研究大学院大学、千葉大学、中京大学、筑波大学、東京学芸大学、東京藝術大学、東京大学、東北大学、ニューーク大学、ブレーメン美術大学、ロンドン大学など



カルチュラルスタディーズ国際学会
-Cultural Typhoon 2021 The
'Back' Strikes Back「裏」の逆襲



芸術学演習(2) エスケープ展
2021年度 多形式表現制作

4年次

3年間に積み上げてきた表現研究、視覚文化研究、市場研究等をもとに確固とした研究意義のあるテーマを各自で選び卒業研究に取り組みます。多形式による作品制作またはアートプロジェクト企画などの実践と論文を組み合わせた研究を完成させ、成果は金沢21世紀美術館での卒業制作展で展示すると同時に公開講演を行います。

芸術学演習(四)
専門演習

(近現代工芸／デザイン／視覚文化研究領域、現代美術領域―多形式制作及び実践的理論、現代批評及びアートプロジェクト領域、絵画表現領域、美術史研究領域など)

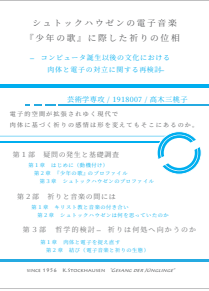
卒業研究〔論文／制作〕

芸術学演習(四)

各自が主体的に設定したテーマを担当の指導教員の個人チュートリアルを受けながら発展させ、卒業研究(論文／制作)として完成させます。途中、口頭発表を何度か行うことで客観的な視野を書えます。作品制作またはアートプロジェクト企画などの実践と論文を組み合わせた学術的に高度でかつ卒業後に即戦力となる成果を目指します。

教育の特色②

芸術が果たす社会的役割の可能性を、創造的な実践と学際的な芸術学で開拓し、美術作家、批評家、キュレーター、研究者としてリーダーシップがとれる人材を育成します。



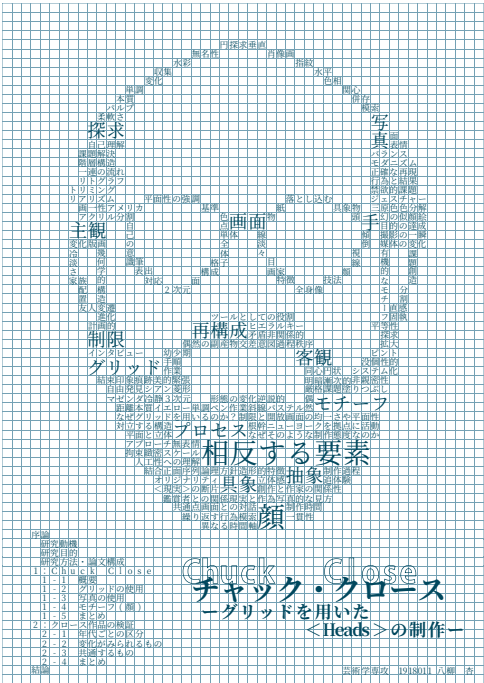
高木三桃子



卒業研究 論文と制作 展示風景



安野 花菜



八柳 杏



押野 みのり



藤田 真央 『「わからない」を問い続ける』



津村 卯乃



並木 萌々花